

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	安曇野アートラインサマースクール
事業主体 (連絡先)	安曇野アートライン推進協議会 北安曇郡池田町大字池田 3203-6
事業区分	教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,886,753 円 (うち支援金: 1,316,000 円)

事業内容

- ①サマースクール ポスター・チラシ作成 (加盟館情報)
- ②子どもと大人のためのお話し会第2弾
9/10(日) 会場: 松川村すずの音ホール
お話し会 99名参加、ワークショップ 12名参加
- ③いせひでこギャララトーク&チェロコンサート
9/5(火) 会場: 絵本美術館・森のおうち 57名参加
- ④新秋葉山塾「八坂に何故人は住めたのかー太古から人は地滑り地域などをすみかとしていたー」
9/16(土)~17(日) 会場: 大町市八坂地区 12名参加
- ⑤中学生ボランティアと楽しむ夏休み
8/1(火)~16(水) 会場: 安曇野ちひろ美術館
1,793名参加



【子どもとおとなのためのお話し会第2弾】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

安曇野アートラインのサマースクールの事業は、立場の違う美術館・博物館がともに活動・連携することにより力を発揮している。例えば個々に活動していれば集客面で苦勞するなどの状況に対しても、共に活動することの意味は大きい。加盟館が一つになってサマースクールをアピールすることで盛り上がり、知名度アップにつながった。サマースクール参加人員は支援金事業を含めた全体事業でH28年度 8,050名、H29年度は H28年度の 10%増の 9,000名を目標としていたが、9,700名を超え前年度の 20%増に及んだ。継続することで相当数のリピーターが目立つようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

現在、日本の教育は理数系学習を優先し芸術文化系の学習時間は減少している。特に未来を担う子どもたちには、美しいものを見ることで育つ感性や、ものを創作する喜び、多様な価値観に出会う場と機会を提供するためにもサマースクール等の事業を継続的に開催していきたい。同時に、地域の美術館や博物館同士が相互に質を高めあい、地域と連携を深めながら安曇野を訪れる観光客をさらに誘致できるような環境づくりを整えていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

【目標・ねらい】

- ①開催期間中の来館者増
- ②芸術文化の普及
- ③子どもの芸術文化に触れる機会の提供、啓発

※自己評価【 B 】

【理由】・子どもと大人のためのお話し会は特に好評で、反響も大きかった。(昨年は安曇野市、今年は松川村で開催)
・サマースクールへのリピーターとなる地元の人や観光客が増え、参加人員が昨年の 20%増となる。